

東北管内「道の駅」の整備効果に関する研究

建設省 東北地方建設局 道路部¹⁾

正員 布施 泰治

建設省 東北地方建設局 道路部¹⁾

柏倉 督

(財)道路保全技術センター 東北支部²⁾

奈良 靖

1. はじめに

「道の駅」制度は、平成5年度に発足し、「道の駅」の3機能である「休憩」、「情報交流」、「地域の連携」によって、交通安全や道路利用利便性の向上、地域拠点形成に寄与していると考えられる。この「道の駅」を対象とした調査は過去に多く行われているものの、「道の駅」及び地域を対象とした整備効果の把握についてはほとんど調査されていない。

本稿は、「道の駅」利用者等に対するアンケート調査により、「道の駅」に対する評価を把握し、整備効果把握と今後の効果的な「道の駅」整備に役立てることを目的とした調査結果を報告するものである。

2. 調査概要

①調査項目の選定

整備効果を把握するために、「道の駅」を評価する視点と評価項目、及び評価項目毎の調査対象を検討し、表-1に示すように整理した。

②調査対象者

調査対象者は、表-2のとおりとした。来訪者と地域住民は、「道の駅」の立地条件、利用状況から選定した4駅を対象とした。

③調査方法

調査はアンケート調査として、表-2に示す方法により行った。

表-2 調査対象者及び調査方法

調査対象者		対象駅	アンケート方法
利用者	H11 スタンプ ラー完走者	68	郵送回収方式
	来訪者	4	面接方式
道の駅駅長		68	郵送回収方式
市町村		68	郵送回収方式
地域住民		4	郵送回収方式

表-1 評価視点と項目一覧表

評価視点	評価項目	調査対象者(評価者)				
		ラー 完走者	来訪者	道の駅 駅長	市町村	地域 住民
休憩 旅 行 計 画 的 休 憩 快 適 性 の 向 上	1 疲労軽減(交通事故減少)	○				
	2 24時間トイレ	○				
	3 道の駅を目的地とする旅行	○				
	4 道の駅を休憩地とする旅行	○				
	5 洗滞発生	○		○	○	○
	6 清潔なトイレ	○				
	7 特産品の食事	○				○
	8 特産品の購入	○				
	9 娯楽・レジャー施設の利用	○		○		○
	10 自然とのふれあい	○				
	11 景観の眺望	○				○
	12 自然環境の破壊(景観含)	○	○	○	○	○
	13 イベントへの参加	○	○			
	14 地元住民との交流	○	○			○
	15 緊急時の立ち寄り箇所	○	○			
情報 交 流	16 地域情報(特産品、文化、観光)	○	○			○
	17 気象情報	○	○			
	18 道路情報(規制、路面、経路情報)	○	○			○
	19 ネットワークサービス(宅配、振り込み等)の利用	○	○			○
地域 交 流	20 道の駅間交流(交流圏の拡大)			○	○	
	21 交流内容の多様化				○	
	22 周辺市町村との交流増大				○	
	23 市町村内の交流増大				○	○
地域 連 携	24 拠点形成(物産販売、観光、交流、情報、防災)			○	○	○
	25 周辺への機能の立地				○	○
	26 既存施設の利用機会向上				○	○
	27 地域知名度の向上	○	○	○	○	○
	28 地域連携軸への参加・形成				○	
	29 地域の顔(ランドマーク)の形成				○	○
	30 風紀の悪化			○	○	○
	31 大気・騒音の悪化			○	○	○
	32 ゴミ処理問題の顕在化			○	○	○
	33 農水産物販売(生産額増大)			○	○	
地域 活 力	34 商品販売(商品販売額増大)			○	○	
	35 利用客(観光客数増大)			○	○	
	36 特産品の地域ブランド化			○	○	○
	37 新たな特産品の開発			○	○	
	38 既存産業の圧迫				○	○
	39 イベント定着化			○	○	○
	40 地方税収の増加				○	
	41 道の駅での雇用創出			○		○
	42 関連産業の雇用創出				○	○
	43 産業の多様化				○	
	44 若者の地元定着			○	○	○
	45 人材育成・活用			○	○	○
意 識 地 域 の 向 上	46 地域文化活動の活発化			○	○	○
	47 自然保護意識の向上(アイドリング、CO ₂)			○	○	
	48 コミュニティ意識の向上			○	○	
	49 ボランティアの定着			○	○	

Key words ; 道の駅、整備効果

連絡先 ; 1) 仙台市青葉区二日町 9-15

TEL 022-225-2171

FAX 022-222-7304

2) 仙台市青葉区二日町 16-1

TEL 022-215-1616

FAX 022-211-4466

3. 整備効果概要

(1) 総合評価

全体的に「道の駅」に対する総合評価は高く、特にラリー完走者では“非常に役立つ”の回答が6割を越えている(図-1)。また来訪者と地域住民を比較すると、来訪者の評価が高く、「道の駅」の利便性を直接享受する利用者がより高く評価していることが分かった。

機能別の評価については、ラリー完走者では“トイレの利用”、“駐車場での休憩”といった「休憩」機能、来訪者では「情報」機能、地域住民では“地域の宣伝・知名度の向上”に関する項目の評価が高く(表-3)、利用者及び地域住民に対し「道の駅」の3機能が評価され、整備の意義が理解され有効に活用されていることが分かった。

(2) 評価の高い駅・低い駅とその要因

ラリー完走者に対し68駅の中で特に“満足した駅”、“不満を持った駅”を尋ねた結果をもとに、各駅をA：満足の多い駅、B：満足・不満ともに多い駅、C：不満の多い駅、D：満足・不満ともに少ない駅の4つに区分し、評価の高いA区分を9駅、評価の低いC区分を6駅抽出した(図-2)。

満足評価の要因は「物産」、「付加施設(レストラン、物産館、温泉を除く)」、「温泉」の順で多く、“満足の多い駅”については「温泉施設」が高い評価を得ていることが分かった(表-4)。

対して不満評価の要因は、「施設規模(付加施設がない)」、「トイレの不満(汚い、少ない、遠い)」の順に多く、“不満の多い駅”についても同様であった(表-5)。

まとめると、利用者は「道の駅」の機能のうち、基本施設(トイレ等)に関しては清潔さなどの快適性を求め、更には商業施設、レジャー施設といった機能を求めている。

4. おわりに

「道の駅」は単なる休憩機能の提供にとどまらず、広く地域の活力向上に役立っていることが把握されたが、一方ではトイレ等の基本的施設に対する評価が低い駅もあり、必ずしも全ての「道の駅」がうまく運営されているとはいえない面があることも分かった。今後は、得られた評価を利用した分析を更に進め、「道の駅」の費用対効果等を含めた整備効果把握手法や、既存「道の駅」の改善及び今後立地する「道の駅」の整備のあり方について検討していく予定である。

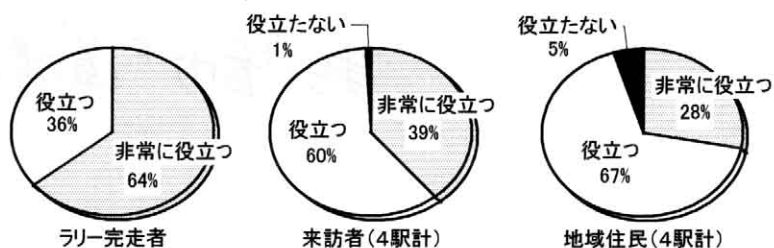


図-1 総合評価

表-3 道の駅機能評価結果(上位3つ)

	ラリー完走者	来訪者(4駅計)	地域住民(4駅計)
1	トイレをいつでも利用できる	地域の情報が得られる	特産品、文化、観光地を宣伝する場ができた
2	駐車場に駐車して休憩できる	知らなかった地域のことを知ることができる	地域知名度が向上した
3	トイレが清潔で気持ちよく利用できる	道路情報が得られる	地域の顔となっている

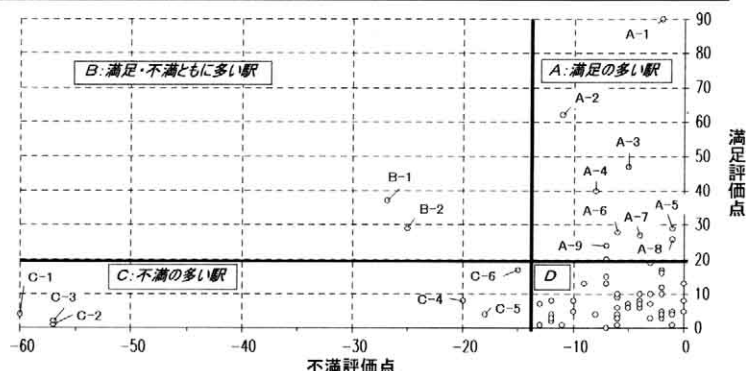


図-2 道の駅区分図

表-4 評価の高い駅の評価要因

単位：%														
		物産	付加施設*	温泉	施設全体	景観・自然	食事	接客態度	休憩施設	トイレ	駐車場	その他	情報施設	計
評価の高い駅	A-1	16	3	40	5	19	4	2	4	3	3	0	1	100
	A-2	47	7	0	17	0	9	1	1	0	8	9	0	100
	A-3	3	0	35	8	2	3	35	2	0	2	0	12	100
	A-4	0	21	34	9	16	0	4	1	6	7	0	0	100
	A-5	24	13	0	22	4	9	2	4	2	20	0	0	100
	A-6	2	2	0	16	0	7	9	30	23	0	2	9	100
	A-7	6	6	67	3	3	3	3	6	3	3	0	0	100
	A-8	10	29	0	5	22	15	10	2	2	0	2	2	100
	A-9	13	34	18	8	8	8	3	5	0	0	3	0	100
	計	16	10	24	10	10	6	7	5	4	5	2	3	100
全駅	18	14	13	10	9	8	8	5	5	5	3	2	100	

*付加施設：レストラン、物産館、温泉を除く

表-5 評価の低い駅の評価要因

		単位：%										
		施設全体	トイレ	接客態度	駐車場	営業日・時	立地条件	その他	物産	出入り不便	休憩施設	計
評価の低い駅	C-1	54	6	7	3	7	4	4	10	0	3	100
	C-2	23	48	6	3	4	3	4	1	0	8	100
	C-3	36	30	3	3	3	7	4	11	1	3	100
	C-4	14	5	5	0	5	48	0	19	5	0	100
	C-5	27	19	12	15	12	0	4	0	0	12	100
	C-6	12	12	6	65	0	0	0	6	0	0	100
	計	33	25	6	8	5	7	4	8	1	5	100
全駅		26	19	10	10	9	8	7	5	4	4	100